



たいぎ 議会だより

No.197

2024

令和6年
7月発行



第2回定例会

一般会計予算1億6,107万5,000円を追加補正 …P2～3

一般質問

4名の議員が4項目を問う ……………P4～6

「大人も子供も集まれる空間づくりについて」「日高山脈襟裳十勝国立公園について」など

5月25日に行われた、大樹中学校体育祭での1枚。
1回でも多い記録を目指し、仲間たちと息を合わせて大縄を飛びます。
晴天にも恵まれ、生徒の皆さんは練習の成果を存分に発揮できました。

発行／北海道大樹町議会

編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

附金等を活用し に向け予算を追加補正

条例の一部改正や
補正予算など
13件を審議!!

介護保険特別会計予算

212万7,000円を追加補正

制度改正に対応した業務システムへ

介護システム改修業務

介護保険制度改正に伴い、システム改修に必要な委託料を増額補正。

条例の一部改正

大樹町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

マイナンバーや個人番号にひもづく特定個人情報の利用や提供に関して、地方自治体の行政システムでの取り扱いについて国から新たな見解が示されたため、条例の一部を改正しました。

問 安田 清之 議員

個人情報を管理するうえでどのような体制を取るのか。

答 吉田総務課長

現段階はどの部署がこういった情報を保有しているのか確認中。部署ごとに必要な情報のみ保有し、担当課以外は閲覧できないよう保護をかける。所属長がデータ管理者となり、他課の情報を閲覧する際には、管理者間で文書により依頼する形を取る。

工事請負契約の締結

小中学校の空調設備設置工事

指名競争入札により工事業者を決定しました。



工事名	契約金額	契約の相手方	工事内容	工期
大樹小学校 空調設備設置工事	6,765万円	田中工業(有)	・室内機24室26台設置 ・受変電設備工事 ほか	令和6年6月6日から 令和7年1月31日まで
大樹中学校 空調設備設置工事	6,036万8千円	(有)上野興設	・室内機17室24台設置 ・受変電設備工事 ほか	令和6年6月6日から 令和7年1月31日まで

令和6年
第2回
定例会

議案審議

6月4日～6月10日開催

指定寄 町の活性化

一般会計予算 **1億6,107万5,000円**を追加補正

地域協力活動の担い手を増員

宇宙のまちづくり推進事業

8月から任用する地域プロジェクトマネージャーに係る費用を増額補正。

地域プロジェクトマネージャーとは

- 地域の活性化や自治体DXの推進など、重要プロジェクトを担う人材を地域に呼び込むための支援策として国が創設した制度。
- 任用経費は特別交付税として町に交付されます。

問 播間 章浩 議員

以前にも地域プロジェクトマネージャーを任用していたが、さらに追加で任用するのか。また、どのようなことをするのか。

答 管企画商工課参事

本年4月に1名が任期終了となったため新たに任用する。HOSPO利用者の誘致など宇宙関連の業務を行う。

産業の育成強化を図る補助事業

地場産業振興奨励事業

新規申請が見込まれるため、増額補正。

事業概要

- 町内で農林水産業・商工業の振興に関する事業を行う者へ経費の一部を補助するもの。
- 補助対象経費の2分の1以内で施設・設備整備費100万円、事業運営費50万円を上限に補助。

十勝管外からの入学生を募集

教育振興事業

今年度大樹高校が実施するオープンハイスクールの参加者へ、道外は5万円、十勝管外は2万円を上限に旅費を補助。

ワクチン接種費用を軽減

予防接種事業

秋から開始する新型コロナワクチン定期接種費用を補助。(自己負担額を3,000円)



老朽化による設備の入替

カムイコタン公園維持管理費

カムイコタンキャンプ場の管理用プレハブが経年劣化のため今年度の利用が難しいことから、同じ場所で更新。



オークホールの設備改修

生涯学習センター運営費

コスモスホールの空調設備が故障し修繕したため、当初予算で予定していたオークホールの屋根の修繕費が不足するため増額補正。

一般質問

4名の議員が4項目について質問

町民の声を町政に届ける

播間 章浩 議員 …… P5

◎大人も子供も集まれる空間づくりについて

菅 敏範 議員 …… P5

◎大樹高校の永続的存続に向けた具体的取組について

志民 和義 議員 …… P6

◎加齢性難聴者への補聴器購入助成について

西山 弘志 議員 …… P6

◎日高山脈襟裳十勝国立公園について

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

YouTubeで議会中継をご覧ください！

一般質問のページに掲載している二次元コードから、議員ごとの動画をご覧ください。



ご自宅のスマートフォンやタブレット端末、パソコンなどで気軽に町議会を傍聴できます！

⚠️ ご注意

スマートフォンやタブレット端末などによる視聴は、ポケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金を請求される場合があります。Wi-Fi環境下での視聴をお勧めします。

◎チャンネル登録をお願いします！

チャンネル登録すると、ライブ中継が始まった際や新しい動画が公開される際に、通知を受け取ることができます。ぜひご登録ください。

大樹町議会
チャンネル





播間 章浩 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

公園の建設計画について

答

令和8年度に整備する

Q1 大人も子供も集まれる空間づくりについて

質問 大樹町内では、乳幼児を含む子育て世代、高校生、移住者、高齢者など幅広い年齢層において、集まれる場所を求める町民の声が多い中、人の集まれる場所が少ないが町民ニーズの把握状況は。

答 (黒川町長) 第6期総合計画策定時に実施したアンケート調査や住民懇談会、たいき未来共創会議、高校生議会などにおいて交流の場や集まれる場所が必要といった意見をいただいております。町民ニーズや要望があることは把握している。

質問 旧北保育園・南保育園の今後の活用について。

答 (黒川町長) 旧南保育園については、子どもから高齢者までが集まれる多世代交流施設としての可能性を検討している。また、旧北保育園については、一部を行政区が利用している状況だが、利用していない部分については、サテライトオフィスなどの活用を検討している。

質問 大樹町経済センターの一部借り上げについて。

答 (黒川町長) 商工会と協議が必要だが、空いている曜日や時間帯によって2階の多目的ホールを高校生が放課後に勉強をしたり、居場所として利用することも可能ではと思っている。

質問 公園・図書館の建設計画について。

答 (黒川町長) 公園は、今年度にもどりの基本計画を策定し、令和7年度に実施設計、令和8年度に整備することで協議を進めている。

答 (沼田教育長) これからの図書館に求められる機能やサービスについて、今年度設置した図書館のあり方検討協議会において、2年間かけて協議を進め、町民の意見を集約する。



菅 敏範 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



質問

道外入学生の下宿や寮の整備は

答

民間の協力を基本に職員住宅の改修も

Q1 大樹高校の永続的存続に向けた具体的取組について

質問 大樹高校は、今年度から「普通科地域探究科」となったが、新入生は25名にとどまり、将来に向け厳しい現実にあるが、7年度に予定している管外推薦入学生の募集内容は。

答 (沼田教育長) 推薦入学者選抜実施要項では、募集定員の40%以内で、そのうち道外入学生は5%以内。ただし、道内の出願者が少ない場合は、増やすことができる。

質問 道外入学生の下宿や寮の確保は。

答 (黒川町長) 民間の協力を基本に整備を進め、空家の職員住宅の改修も検討している。

質問 道外入学生募集のために地域みらい留学事業に参画したが、現在の進捗状況と今後の予定は。

答 (沼田教育長) オンライン説明会に2回参加し、今後4回程度参加予定。6月に東京と7月に札幌で開催される対面説明会には、校長や生徒、コーディネーターなどが参加する。

質問 部活動等連携推進協議会では、小中高一貫して地域移行を進める方針だが、協議の進捗状況は。

答 (沼田教育長) 5年度は、小学5年生から高校生、保護者や教職員にアンケート調査を実施。今年度は、運営体制や人材バンクの整備、地域移行モデル事業や教職員の兼職兼業の検討を進める。

質問 特別委員会の要望書に対する活性化推進協議会の協議経過は。

答 (黒川町長) 活性化推進協議会や高校、関係部署と協議を重ね、大樹高校の魅力や新学科をPRするパンフレットを作成した。今年度は道外からの広域募集に向けた下宿や寮の確保についても協議する。



志民 和義 議員

Q1 加齢性難聴者への補聴器購入助成について

質問 現在、管内、道内で助成している市町村は何か所か。

答 (黒川町長) 管内6町、道内18市町村が助成している。

質問 補聴器購入の助成を早急に実施しては。

答 (黒川町長) 管内6町について調査したところ、中等度難聴(40dB以上70dB未満)で医師の証明書がある人を対象にしている町も多く、助成上限額や助成率など町によって差がある。引き続き情報収集を進め、助成の必要性やあり方を検討したい。

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



難聴者へ補聴器購入の助成は

質問

答

助成の必要性やあり方を検討したい

質問 ある調査で難聴は、社会参加の障壁となることや認知症との関連性、早期治療の重要性がうたわれているため、補聴器の購入助成は必要と考えるが。

答 (黒川町長) 難聴がもとに認知症につながる、コミュニケーションが取りづらくなることは理解できる。補聴器だけでなく、予防接種など町民の健康管理、健康増進のためにどのような助成が良いか総合的に考え、来年度予算に向けて検討したい。



西山 弘志 議員

Q1 日高山脈襟裳十勝国立公園について

質問 十勝・日高山脈観光連携協議会の協議経過と今後の方向性は。また、十勝全体での連携は。

答 (黒川町長) 協議会では、国立公園化を契機と捉え、パンフレットや動画の作成などを進めてきた。今年度はモニターツアーやガイドの発掘・育成に取り組んで日高山脈の魅力発信を進める。また、十勝総合振興局が中心となり、十勝全体として地域の活性化、環境保全、認知度向上に取り組む。

質問 町の食・観光・景観などを活かした魅力発信・PR活動は重要と考えるが、地域活性化と観光客の誘致に向けた施策は。

答 (黒川町長) 食と観光のつながりは重要と認識している。日高山脈は景観が魅力の一つ。景観の良い場所に展望施設を設置するなど、景観を活かした観光客の誘致に取り組む。

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



観光客の誘致に向けた施策は

質問

答

景観の良い場所に展望施設を設置する

質問 長期滞在者に対して空家を有効活用しては。

答 (黒川町長) 町が空家を利用して取り組む予定はないが、民間で賃貸できる施設はあるので紹介できたらと思う。

質問 遭難救助訓練やドローンを利用した救助訓練、携帯電話のエリア調査が必要と考えるが。

答 (黒川町長) 山岳救助は経験や、専門的な知識のある人でないと難しいので、消防団が訓練して対応するのは厳しい。今年度ドローンを導入するので、早期に対応できるようにしたい。携帯電話のふかん地帯は通信会社で把握しているので情報を入手し、登山者が確認できるようにしたい。

質問 ヒグマ撃退スプレーのレンタルを検討しては。

答 (黒川町長) ヒグマ撃退スプレーを道の駅で揃えて使用した分だけ請求する方法も有効と思うので検討したい。

高校生議会に向け議会を傍聴

6月6日、大樹高校の3年生25名が「総合的探究の時間」の授業の一環で、定例第2回町議会の一般質問を傍聴しました。

高校生は、傍聴人数の定員の関係から、議場と会議室でのモニター傍聴を交代で行い、議会の雰囲気の間近に感じながら、議員の質疑と町長の答弁のやりとりに熱心に耳を傾けていました。なお、高校生議会は10月に開催を予定しています。



議会傍聴の感想

質問一つ一つがしっかりと意味のある質問で、自分の意見もしっかりとまじえて話していて内容の濃い議会だなと思いました。

過去の地域探究のことも含んだ議論で、自分たちや町民の意見を反映し、町民のことを考えて話合っているのだなと思った。

しっかり住民の要望を話に取り入れていていいと思った。大樹町の未来のために色々な人が議論しており、大樹町を大事にしていることが伝わった。

町のことを考えてくれていると思っていたが、傍聴してみると想像以上に話し合っていて驚いた。質問が噛み合っていないところがあった。

次の定例会は 9月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

日程は町ホームページで
お知らせします

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

請願・陳情は どなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

※請願書・陳情書の審議は、各定例会の前に開催される議会運営委員会までに受け付けたものになります。それ以降に受け付けたものは、次の定例会で審議されますのでご了承ください。

— 広報広聴常任委員会活動報告 —

住民懇談会

北海道猟友会大樹支部の皆さんと『猟友会の現状について』懇談

6月19日、北海道猟友会大樹支部の皆さんとの懇談会を開催しました。12名の方々に参加いただき、猟友会の現状や町への意見・要望をいただきました。懇談の内容を抜粋してお知らせします。

■現状

①設備費用・維持費について

- ・海外での戦争の影響により、実弾を作るための雷管が春頃から全く入荷されていない。
- ・一時よりは落ち着いているが、銃弾や火薬の価格は3年の間に5割ほど上がっている。

②有害鳥獣駆除の報酬単価について

- ・自分たちは趣味で狩猟を行い、ボランティアの気持ちで有害鳥獣の駆除もしている。報酬を上げたからといって会員が増えるわけではないと思う。
- ・単価を上げるよりも、もう少し違うことで良くしていただきたい。
- ・要望は、事務局（農林水産課林政係）へ伝えれば改善してもらっていると感じる。

③会員の減少・高齢化について

- ・大樹支部では若年層が入ってきている。平均年齢は下がっているのではないかと。
- ・会員数についても特別少ないとは感じていない。

■意見・要望

①発砲の許可

- ・農地所有者から発砲の許可が出てもその家族が許可せず、トラブルになったケースがある。また、家屋と周辺の土地で所有者が異なる場合もあり、猟銃が使用しづらい。
- ・農協の組合だよりや広報紙で有害鳥獣駆除への協力を周知してほしい。

②国有林での駆除

- ・大樹町民には町内の国有林での発砲許可を出してほしい。特にシカは国有林を寝床としているので。

③駆除後の処理について

- ・獲った後が大変。埋設だけでは負担が大きい。駆除した鳥獣の回収箱を設置してほしい。
- ・帯広では駆除したシカを解体業者に買い取ってもらえた。獲る側としても有効活用してもらいたい。そういった施設があればいい。

懇談内容は議会と役場で共有しています。いただいた意見や要望は、議員の一般質問や常任委員会の所管事務調査などの議会活動に活かし、より地域課題に即した議会運営を目指します。



■委員報告

○播間 章浩 委員長

- ・若手会員が増えたことで会員数は維持できており、不足は感じていないとのこと。一方で、銃弾の管理や処分などについて苦勞されている声が多く聞かれた。
- ・今後少しでも有害駆除などに取り組みやすい環境づくりが必要。

○船戸 健二 副委員長

- ・若い会員の育成には多くの時間と経験が必要であり、駆除体制の確立と維持に対し、経常経費の負担軽減のための補助などを検討するべき。
- ・当町の実情として飛び地の畑が点在していることが多く、駆除可能個所の見える化など、対応策の検討が必要。

○菅 敏範 委員

- ・敷地内での捕獲を許可しない、または親子で対応が異なる農家があり、農地での狩猟に理解が得られない場合がある。
- ・農地と国有林が隣接している場所が多いが、国有林内の駆除は特別な場合を除いて許可されていない。そのため、逃げ込んだエゾシカの捕獲ができず困っている。

○西山 弘志 委員

- ・町から駆除の依頼を受け、ボランティアの気持ちで駆除している。
- ・燃料や弾代など経費が高騰しているため、報酬や出動手当などの単価の見直しが必要。
- ・捕獲した動物の食肉利用はなかなか難しく、捕獲や残渣の処理が課題。

○吉岡 信弘 委員

- ・駆除報酬について強い要望はなかった。どの程度の金額が適当か一概には言えないが、今後は各市町村の実情も聞いた中で全道的な議論が必要。
- ・ヒグマ駆除の出動は、非常に危険な業務のため万が一に備えて非常勤職員扱い、公務災害の適用といった配慮をすべき。

○寺嶋 誠一 委員

- ・今後猟友会を維持するために、狩猟免許更新時の費用や狩猟税に対する補助、または助成を検討しなければ。
- ・駆除報酬については、十勝管内でも単価に差が生じており、本質的な問題。広域的な基準を検討する段階にある。

追跡レポート



議会での質問事項や
可決予算について、
現在の状況を追いました。

令和5年9月第3回定例会 第5期総合計画の成果と町民の住み やすい町に向けての取組について

問 町民のライフスタイルに合わせた
広報配信が必要では。

答 LINE等を活用した情報発信を検
討し、住民サービスの向上に努め
たい。

その後 令和6年2月よりLINEによる
メッセージ発信を開始。



友達追加はこちらから
イベント情報や防災情報
を気軽に確認できます。

令和5年3月開会 令和5年度予算審査特別委員会 医療費助成の拡大について

問 高校生までの医療費の全額助成
の考えは。

答 小中学生までは既に実施してい
るが、高校生までの無償化も検
討の余地はあると考えている。

その後 医療費助成に関する条例が改正
され、令和5年10月1日より助
成対象者が満18歳まで拡大。

いったん医療費を自己負
担していただきますが、
申請により助成を受ける
ことができます。



令和5年5月第3回臨時会 一般会計補正予算で可決 行政区会館等維持管理費

宝くじ社会貢献広報事業による「コミュニティ
助成事業」を活用し、行政区会館等で使用する
テーブル60台、椅子60脚を購入しました。

購入した机と椅子は
勤労者センター等に
保管されています。



令和5年10月第4回臨時会 一般会計補正予算で可決 宇宙のまちづくり推進事業

JAXA大気球格納庫を屋外巨大スクリーンとし
た映像体験や、宇宙飛行士疑似体験を楽しめ
る「VR宇宙旅行体験」を開催しました。

VRゴーグルによる
360度映像で、宇宙
空間に到達するまで
の映像を楽しむ様子



令和6年
第2回
臨時会

議案審議

5月8日開催

教育長の任命や
条例の一部改正、
補正予算など
6件を審議!!

一般会計予算 **3,860万8,000円** を追加補正

大樹町での起業を支援

観光振興対策事業

令和6年度に任用期間満了となる地域おこし協力隊員1名に対し、アウトドア体験観光サービスの起業を支援するための補助金を増額補正。

問 播間 章浩 議員

補助金を利用するにあたっての要件は。

答 伊勢企画商工課長

起業から3年間は当町で事業を行うなど一定の条件がある。

クラウドファンディングによる支援

宇宙のまちづくり推進事業

インターステラテクノロジズ社に対するロケット開発応援のクラウドファンディング活用事業補助金を増額補正。

歳入予算の増額補正に対応

ふるさと応援推進事業

クラウドファンディング活用事業補助金の補正予算に伴い、財源となるふるさと納税の寄附金に対する返戻品の費用、ポータルサイト運営経費について増額補正。

教育長の任命

沼田拓己氏を再任

任期満了に伴い、沼田拓己氏を再任することに満場一致で同意しました。

教育長の任期：3年

(任期：令和6年6月1日から令和9年5月31日)



工事請負契約の締結

北海道スペースポート整備事業

随意契約により工事業者を決定しました。



射場完成イメージ図

工事名	契約金額	契約の相手方	工事内容	工期
北海道スペースポート整備工事	6億1,006万円	日本工営・黒川・清水・宮坂特定建設工事共同企業体	・射場造成工事一式 ・射点、煙道施設工事一式 ・用水供給工事一式 ほか	令和6年5月10日から 令和7年3月14日まで

一目でわかる 審議結果



全会一致の議案

令和6年 第2回臨時会	教育長の任命について 教育長に沼田 拓己氏を選任することに同意。	同意
	大樹町税条例の一部改正について 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴う条例の一部改正。	原案可決
	大樹町国民健康保険税条例の一部改正について 国民健康保険法施行令の一部を改正する政令等の公布に伴う条例の一部改正。	原案可決
	令和6年度大樹町一般会計補正予算（第1号）について 歳入歳出それぞれ3,860万8千円を追加。	原案可決
	工事請負契約の締結について ※1 北海道スペースポート整備工事の請負契約を6億1,006万円で締結。	原案可決
	財産の取得について 塵芥車一式を1,750万円で取得。	Point! 予定価格700万円以上の財産の取得は議会の議決が必要です！ 原案可決
	令和5年度大樹町一般会計繰越明許費繰越計算書について 令和5年度大樹町一般会計から5億7,597万1千円を翌年度に繰り越し。	報告済
令和5年度大樹町介護サービス事業特別会計繰越明許費繰越計算書について 令和5年度大樹町介護サービス事業特別会計から1,723万5千円を翌年度に繰り越し。	報告済	
令和6年 第2回定例会	大樹町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について 行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴う条例の一部改正。	原案可決
	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」によるマイナンバーカードと被保険者証の一体化に伴い、広域連合規約を変更。	原案可決
	令和6年度大樹町一般会計補正予算（第2号）について 歳入歳出それぞれ1億6,107万5千円を追加。	原案可決
	令和6年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出それぞれ212万7千円を追加。	原案可決
	令和6年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出それぞれ33万8千円を追加。	原案可決
	令和6年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）について 収益的収入・支出それぞれ136万3千円を追加。 資本的収入・支出それぞれ65万2千円を減額。	原案可決
	工事請負契約の締結について ※1 幸町団地12号線改良舗装工事の請負契約を4,007万3千円で締結。	原案可決

次のページへ続く

令和6年 第2回定例会	工事請負契約の締結について ※1	原案可決
	寿町団地3号棟新築工事（建築主体）及び外構工事の請負契約を1億2,936万円で締結。	
	工事請負契約の締結について ※1	原案可決
	大樹小学校空調設備設置工事の請負契約を6,765万円で締結。	
	工事請負契約の締結について ※1	原案可決
大樹中学校空調設備設置工事の請負契約を6,036万8千円で締結。		
総合計画実現進捗委員会の設置について（陳情）	不採択	
町側より内部委員会と町民を含めた外部委員会を設置し毎年評価をしていくと説明があり、議会においてはその経過を注視し適切な評価と説明を求めていくため、全会一致で不採択とする。		

※1：5,000万円以上の工事、または製造の請負契約締結には議会の議決が必要です！



令和5年11月に行われた住民懇談会の様子

令和5年 議会活動状況

(令和5年1月～令和5年12月)

議会の開催

定例会	臨時会	一般質問 延べ人数	一般質問 延べ件数	議会 傍聴者数
12日	5日	26人	34件	51人

議決件数

(単位：件)

条 例	予 算	決 算	意見書	その他	合 計
22	44	8	3	45	122

議員活動日数

(単位：日)

職 名	本 会 議	委 員 会	全員協議会	研修・視察	会 議 出 席	行 事 な ど	合 計
議 長	17	13	16	15	22	121	213
副 議 長	17	5	16	11	4	19	99
議員平均	17	9	16	7	2	5	65

広報広聴常任委員会



委員 長 播間 章浩
副委員 長 船戸 健二
委員 菅 敏範
委員 西山 弘志
委員 吉岡 信弘
委員 寺嶋 誠一

編集後記

近年、行政業務のデジタル化は急速に進んでいます。大樹町においてもマイナンバーカード利用による28の手続きや住民票・パスポートなどの更新手続き、町税の一部で二次元コードを利用した納付などの行政サービスを提供しています。しかし一方で情報格差が喫緊の課題です。町民の皆様の安全・安心につながる行政サービスのデジタル化は地域共創の鍵になりますのでご理解とご協力をお願いします。

委員 寺嶋 誠一